

事業名：県内ガイド視察研修会及び意見交換会

団体名 大石田町観光ボランティアガイド「虹の町案内人」

*実施日：令和4年1月6日(木)

*場 所：金山町, 新庄市

*ねらい・内 容

他市町の観光ガイドとの交流、ガイドスキルの向上を目的として実施しました。

金山町では、株式会社ここから街並み案内人の方に町内を歩きながら、町の歴史的景観などを丁寧に説明していただきました。案内終了後には、両ガイドが抱える課題やコロナ禍での活動の現状、普段ガイドをする際に意識していることなど意見交換をしました。

新庄市では、新庄ふるさと歴史センター館内案内人「もみの木会」の方から新庄まつりの変遷を中心に紹介していただき、NPO新庄観光ガイド協議会の方からは新庄藩主戸沢家墓所・芭蕉句碑と柳の清水跡・鳥越八幡神社を、案内していただきました。

1日を通して、2市町の歴史やまちづくりの現状について学ぶことができました。延期により雪降る中での研修でしたが、季節にあったガイドコースの構築やリモート案内等、新しい視点や意見がでるなど充実した研修会となりました。



【事業の成果・効果と課題】

◇成果・効果

各地の魅力として発信している観光情報の更新に加え、ガイド自体の存続が共通の課題であることが確認できました。また、雪降る中で案内をする機会が少なかったため、季節にあった観光ルートを検討する必要があることがわかりました。

雪道の歩き方等、自分達にとっての「あたりまえ」を教えることも観光客にとっては大切な情報だと感じました。

◆課題

外国人観光客への対応については、言葉が通じないことが大きな課題として挙げられました。インバウンド向けのガイドのため、翻訳機等を活用した研修を取り入れる必要があります。また、パンフレットに掲載されている情報ではなく、観光客が本当に知りたいこと・見たいものを察することが重要で、意識しながらガイドしなければいけないと認識しました。

【今後の展望】

今回の研修を通して、第一にガイドの担い手を募集することや団体の存続を図ることが重要だと共有したので、認知度を上げるための広報活動に努めます。

また、コロナ禍の活動はメンバーの健康面を考えると対面での案内は少なくなることが予想されますが、リモートでのツアー等も可能であることがわかったため、今の状況にあわせた機器の準備やガイド方法を検討していきたいと思えます。

参加者(ガイド)voice

・初めて冬時季の研修を行なったことで、普段見えなかった課題に気づくことができました。

・3つの団体からガイドをしていただき、それぞれの話し方や個性で魅力を伝えられることが分かったので、今後の活動に活かしたいです。

・このような情勢だからこそ、他市町村ガイドとの情報交換は頻繁にしていくべきだと感じました。

お問い合わせ先：大石田町産業振興課商工観光グループ

連絡先：TEL/0237-35-2111

FAX/0237-35-2118

Mail/syokoka@town.oishida.yamagata.jp